

あぜみち 穂肥対策号 7月15日発行

本年の出穂期予想は、平年並みの見込み

●本年のコシヒカリの生育は、指標値に比べ、草丈は「短」、茎数は「多」、葉色は「やや濃」となっています。穂肥の施用時期が遅れますと、穂数や籾数の低下による減収、稲体の栄養不足による登熟不良などにつながります。

なお、出穂期は圃場条件や気象状況により、変化しますので、穂肥の際は幼穂長の確認を必ず行い、適期穂肥を行ないましょう。

●出穂期予想について

☆田植え日別コシヒカリ幼穂形成期及び出穂期の予想(7月13日現在)☆

出穂期は、ほ場条件や標高差により異なります。また、今後の気温の高低によりかわりますので、ご注意下さい。

田植え日	幼穂形成期	出穂期	穂肥施用時期のめやす	
			1回目(出穂 18~15 日前)	2回目(出穂 10 日前)
5月15日	7月12日	8月4日	7月17日~20日	7月25日
5月20日	7月16日	8月8日	7月21日~24日	7月29日
5月25日	7月20日	8月12日	7月22日~25日	8月2日
5月30日	7月24日	8月16日	7月28日~31日	8月6日

●穂肥指導会開催について 【多くの御参加をお待ちしております!】

日 時・・・ 7月17日(金) 夕方6時より

7月18日(土) 朝 7時より

場 所・・・ JAしおざわ カントリーエレベーター

⇒裏面もご覧下さい

～斑点米カメムシの多発生に注意してください～

- 7月上旬における塩沢、湯沢管内の病害虫発生予察調査において、全域でカメムシの発生が確認されています。近年、カスミカメ類が多く確認されるようになりました。今後、気温が上がってくるとカメムシの活動が活発になりますので、防除を確実に行ないましょう。

本年度の一斉草刈週間

7月11日（土）～7月20日（月）

畦畔の草刈を徹底し、カメムシ類の密度を低下させましょう。出穂後も定期的な草刈を行い、草刈後の草は、用水や河川に流さないようにしましょう。

●カスミカメ類（アカヒゲホソミドリカメ、アカスジカスミカメ）

畦畔から飛翔し、本田まで移動するため、活動範囲が広い。早生品種で斑点米が多発生しやすい。酒米等、出穂が早く、注意が必要。また、コシヒカリでも、割れ粳が多い条件では、斑点米が発生しやすい。平年より多く確認されている。

キラップ粉剤DL	穂揃い期	3～4kg/10a	2回
キラップフロアブル		1,000～2,000倍	
キラップ粒剤	出穂期3日後～7日後	3～4kg/10a	

アカヒゲホソミドリカメ



アカスジカスミカメ (Red-striped longhorn beetle)



オオトゲシラホシカメムシ (Large longhorn beetle)



昨年、コメの検査において、カメムシの被害により等級落ち、または再調整をされた方にいたしましては、キラップ1回、Mr. ジョーカーは2回、スタークル粒剤は1回の散布をお願いします。